

Vol. **123** 2019. 11(隔月刊)

社会福祉法人 一心福祉会

<https://www.issshinfukushikai.or.jp/>

わが人生



新城 ハナさん (109歳)  
本文6面「わたしのヒストリー」  
生涯現役!





**米寿・風車・新百歳  
合同祝いの盛大に!**

米寿・風車・新百歳祝いの皆様



あやかり酒を受ける来賓の皆さん

九月二十二日、米寿・風車新百歳の合同祝いをやんばるの家食堂ホールで行い、実行委員、祝い者御家族、デイサービス職員等沢山の方々の協力で盛大に開催されました。沖繩の合同祝いを実際に体験するのが初めてというご家族からは「お祝いの盛大さに驚いた」という感謝の言葉も頂きました。

やんばるの家



祝い者も一緒にカチャーシー



バレエを踊る祝い者のひ孫



看護学科の皆さんお疲れさまでした。  
やんばるの家

**高齢者看護実習  
受け入れ**

十月十五日～二十五日迄、名桜大学看護学科の学生よるに高齢者看護実習を受け入れました。各自受け持ちを決め実習行動計画に沿って実習目標を立て実習を行いました。学生自身も不安や自分の強み弱みを確認しながらの実習でしたが日々接するうちに利用者の方々の笑顔が多く見られたのが印象的でした。実習を受け入れて利用者のお話を傾聴する姿勢や寄り添うケアの大切さを再確認することができました。

共に生き・自立をめざして  
笑顔あり

九州障害児者支援施設研究大会

研修報告

一心療護園 神里 千夏

九月十九日二十日に行われた九州障害児者支援施設研究大会(大分大会)に参加しました。共に生き・自立をめざして・笑顔ありを題に、わたしは人材確保・育成・定着への取り組みの分科会へ参加しました。印象に残ったのが、人材定着に向けて、働く環境づくり・労働条件については、施設側の工夫で整えられるとの分析でした。お互い様の精神の下、組織全体で協力して困難を乗り越えることで定着に繋がっているとの発表でした。上司や同僚など相談し合える環境で、助け合い・支え合いがあることが働いていて安心感があるから定着しているとのことでした。また、外国人の雇用について、どの施設で



も大きな課題となっていて、障害者に対応している私達だからこそ、外国人も受け入れていけるのではないかと、その声も聞かれました。分科会後の懇親会では、他の施設の方達と楽しく交流させてもらいました。今回、この研修に参加し、たくさんの方と意見交換ができ、とても貴重な経験となりました。参加させていただき、ありがとうございました。

法人レク♡観月会

十月十日、法人職員観月会を開催しました。昨年まで、法人レクと題してレクとBBQを行ってきましたが、今年は晩秋の名月をかなでながらのBBQ。少し趣向を変え、BBQだけでなく、団子もすすきも飾り観月会らしくセティング。たくさんのデザートやフルーツも準備して、特に女性職員に大変好評でした。



遠くに見えるのが月ですよ

衛生委員会からのお知らせ

職員の相談窓口設置

一心福祉会では、今年度衛生委員会を立ち上げ、職員のメンタル面にも寄り添った環境づくりを目指す中、職員の相談窓口を総務室に開設することになりました。将来の退職金、社会保険に関する事、福利厚生、就業規則に関する事、また、日々の業務で疑問に感じていること等気軽にご相談いただけたいと思います。相談内容は秘密厳守ですが、解決に向け上司に報告が必要な場合は相談者の承諾を得て上司に報告し、解決の手助けをしたいと思っています。

やんばるの家担当 山田 りか  
えすの里担当 奥原 優子  
一心療護園担当 神里 千夏  
総務室 44-2337



カーモンベイビーアメリカン♪



すっごいデザート最高!!



# 東村敬老会参加

グループホーム つつじ苑

去った九月十一日、東村の主催する敬老会に つつじ苑より利用者六名が参加しました。会場ではゲンちゃんやのショーや歌や踊りなどを楽しみ、まれ地域の知り合いの方が声を掛け懐かしそうに話しをされ喜んでいました。また今年で米寿の「中村サネさん」が東村長より大きな額縁の記念品を貰い大喜び、「息子に電話して取りに来てもらって家の仏壇に飾っておきたい、お父さんにも見せたいからよ」とうれしそうに話をしていました。

また、今年百一歳になる池原富さんもお祝い金を貰い「また来年も元気で敬老会参加してお祝い金貰いに行こうね」と冗談交じりで話すと本人も「そうだね」笑っていました。家族、地域との交流もでき、とても良かったです。

大城 靖彦



表彰を受ける中村サネさん（88歳）

# 道ジュネー

グループホーム きじよか

十月十二日、利用者五名が謝名城区の道ジュネー見物に出かけました。この日はグループホームも朝から活気があり、参加予定の利用者さんに声掛けすると「楽しみ」と嬉しそうに話され、道ジュネーは午後二時からと聞いていましたが、皆さん大分前から出掛ける支度をしていました。道ジュネーが通る頃には道沿に椅子を準備し、地域の方が用意した「かつら」を被り待ちましたが、その時間が楽しい地域交流となり、グループホームに帰ってからも口々に「また行きたいさー」「楽しかったよー」との声が聞かれました。

新城 智暉



仮装し道ジュネーを満喫！きじよか利用者

# 体重測定と交流会

小規模多機能ホーム いっしん

いっしんでは定期的にやんばるの家へ出かけ、車椅子利用者の体重測定を兼ねての交流を楽しんでいます。やんばるの家にはいっしんから異動した利用者さん、職員がいるので、楽しみの行事となっています。車椅子利用者だけでなく、当日の利用者さんも参加して、歌や三線で和気あいあいと楽しく過ごしました。



やんばるの家での交流会風景

# 有銘幼稚交流会

小規模多機能ホーム あがり

九月十二日、有銘幼稚園の園児五名が来所、エイサーダンスを披露しました。元気よく踊る、園児たちをみて利用者の皆さん、終始笑顔で楽しんでいました。おやつとの時間では、園児たちと一緒におやつを頂きながらおしゃべりを楽しみ、有意義な時間を過ごしました。

宮城 智子



エイサー、ダンス始めるよ～

# 大運動会

デイサービス



玉入れ競争  
見よ！！この真剣なまなざし！！



「歳を取ってもまだ若い  
ちばりよー」をテーマに  
デイサービスでは秋のミ  
ニ運動会を十月七日と八  
日の二日間開催しました。  
宮里恵美子さんの初め  
の言葉「白組も赤組も皆  
で心を一つに頑張らま  
しょう」との挨拶で始ま  
り、平良澄子さんの元気  
いっぱい力づよい誓い  
の言葉。待ちに待った運  
動会です。赤組、白組に  
分かれて玉入れ競争、玉  
運び、パン食い競争と職  
員によるリレー四種目行  
いました。

パン食い競争では手を  
使い要領良くパンをとる  
利用者、なかなか取れず  
時間がかかっている方皆  
さん一生懸命です。デイ  
サービスの狭い廊下での  
開催でしたが太鼓の音、  
「頑張れー」と応援の声、  
歓喜に包まれ運動会は最  
高潮に盛り上がりました。  
又、利用者の真喜志道  
子さんは「学生の頃を思  
い出して楽しかったと話  
されていました。歳を取っ  
てもまだ若いパワフルな  
デイ利用者の皆さんでし  
た。

# ゆうあいスポーツ大会

えすの里

秋の一大イベントゆう  
あいスポーツ大会が九月  
二十八日に行なわれまし  
た。  
今年の天気は予報を裏  
切り晴天！秋とは思えな  
い、厳しい日差しの中で  
の、大会となりました。そ  
んな中でも参加された利  
用者さんのモチベーション  
は常にマックス！今年  
も、走って、投げて、跳  
んで、その顔は正に競技  
選手そのものでした。

初めて参加した職員か  
らは、「あんなに早く走  
れるの！」と普段と違う  
利用者さん達に驚きなが  
らも、「参加された全ての  
利用者さんが全力で競技  
している姿に感動した」  
と、ゆうあいスポーツ大  
会の魅力にどっぷり浸  
かっていました。  
今年も熱い声援で盛り  
上げて頂きました家族の  
皆さんありがとうございました。

# 小林流空手交流会

デイサービス

九月十四日、江洲区の  
皆さんの訪問があり、小  
林流空手を披露してくだ  
さいました。毎週水曜日  
に江洲公民館で練習され  
ているとの事で、棒術と  
型を、先生はじめ六名の  
方が舞台で披露され、日  
ごろ身近で見ることのな  
い迫力ある演武にデイ  
サービスの利用者の皆さ  
んも集中して見入って  
いました。

披露してくださり、利用  
者からの多くのリクエスト  
にも快く演奏してもら  
い、利用者も十八番の歌  
を気持ちよく唄って過ご  
されました。  
空手の先生より、「デイ  
の皆さんから元気をもら  
いました」との言葉があ  
り、とても素敵な交流が  
出来ました。江洲区の皆  
さん、楽しいひと時あり  
がとうございました。  
※写真は8面。

演武の後は、三味線も



走るのが大好き！！（200M 走出場）



円陣くんで“ガンバルゾ～”！！



生涯、現役です!!



小規模いっしん利用者・塩屋区在住  
新城 ハナさん(109歳)

て、譲り受けました。宜野座家(屋号)の一  
戦前は義理の父(牛助)が小さな店をやっていた。角で店はやっていました。店の後ろに住んでいました。専売公社のタバコ、塩の販売を中心に「今川焼」を焼いて売りました。先代からの商売のノウハウを教わって、店の表で焼きながら販売しました。子どもたちも今川焼の手伝い等はしてくれました。長女は良く手伝ってくれました。その頃は余裕もあって豊かな暮らしでした。商売もしながら農繁期には米を作っていました。タードウシといって田んぼに畝を作りサツマイモも作っていました。養蚕もしていました。息子の国民学校入学式には自分で糸を紡いだ絹で洋服をつくりました。



人生はたった一度と言われますが、その人の歩んだ人生は唯一のもの。その貴重な体験を「私のヒストリー」(ライフヒストリー)と題してご紹介する企画です。



若かりし頃のハナさん



孫たちの成長が楽しみです(1975年)

蚕室も自宅の一室にありました。桑畑も持つていました。桑畑も持つていて東村高江まで行き、担いで帰ってきていました。戦争中から戦後にかけては非常に苦労しました。長男が国民学校三年の時、米軍が上陸して、夫は防衛隊(金武の特殊専攻艇の船の管理?)にとられて家にいないので、押川の隣の小さい集落ハレールという所に知り合いがいて、家財をあげて一家で避難させてもらいました。その後三月三十一日にさらに奥山に避難しました。大雨が降って、山奥で住むところもないので炭焼き小屋で一晩過ごし、その翌日小屋を建てました。山では食料調達しなくてはならないので、集落近くの段々畑に芋を植え、夜明けにかけて一人で堀りに行っていました。一度は夕方、雨も降っていて米軍が近くまで来ているのに気づかず、芋を取っていて、見つかり逃げました。銃でパラパラとやられながら逃げました。夜になって米軍がいなくなったのを見計らって落とした芋を拾いに行きました。あちこち体中、泥や血だらけでした。翌日も同じように調達に行きました。それが一番きつかったです。七月までそこで過ごしました。

終戦を迎えましたが、塩屋の集落は米軍がガソリンをまいて焼き、ブルドーザーですべてを潰し占領したので、帰ってこられませんでした。根路銘から降りて喜如嘉の収容所にいきました。

戦後はサトウキビ、パイン、ミカンを栽培するのが主な仕事で家畜を養ったり豆腐を朝早く作って売ったり、とにかく働きました。寝る間も惜しかったです。自分では人に話したことはないです。



独り暮らし、自炊を続けました!

長男(和治さん)に聞き書き



子や孫達とスイカ収穫(1971年)

## 経営の現状分析（その3）人件費

### 人件費増への対応と退職金

前号に引続き「人件費の増額への対応」と「退職金」について。

人件費は毎年度増加の一途をたどっている。増額の主な要因等については、前号で紹介されているため詳しくは示さないが、職員処遇の改善によるものである。しかし、このままでは事業運営にも影響を及ぼす要因となることは明確である。

ポイントとなるのは、職員個々のスキルアップを図り、より効率的で良質なサービスを提供する事がまず求められるものであると考える。

次に「退職金」について。表が示す通り、毎年度人件費の増額と同様に退職給付掛金（福祉医療機構・共済会）も増加の一途である。

特に福祉医療機構の退職給付掛金は、平成18年以降、新規加入職員については、旧来掛金の3倍（障害者支援事業所においても平成28年より3倍）となり大幅増の要因となった為、新採用職員については退職金制度の対象外とする法人が増えている。

当法人も新規加入職員の増加により、退職掛金の人件費に占める割合は上昇を続けているが、職員処遇の大きな柱の一つと捉えて、採用後1年契約となった時点で常勤職員は全員（共済会については正職員）加入しており、今後も継続していく方針であります。

ちなみに、第9回全国老人ホーム基礎調査によると、69.5%の事業所が福祉医療機構の退職給付掛金へ加入している。（独自の退職金制度がある法

人も24.7%）この制度のメリットは、法人の全額補助で職員の負担がない（共済会については法人が半額補助）ということにつきます。

ここで過去の退職金の事例を紹介。

- (1) 介護職員A 勤続年数26年  
 基本額 265,000円～279,999円  
 福祉医療機構退職金額 7,300,000円  
 共済会退職金額 2,600,000円  
 合計金額 9,900,000円
- (2) 介護職員B 勤続年数30年  
 基本額 280,000円～299,999円  
 福祉医療機構退職金額 9,700,000円  
 共済会退職金額 3,340,000円  
 合計金額 13,100,000円

これからも分かるように継続勤務年数と基本額に比例して退職金も増額していくものである。先に報じられた金融審議会の報告書にて、老後に必要な資産として20,000,000円が必要という計算が示され物議を醸した。それが現実的な物であるかどうかは別としても非常に厳しいものであるが、それに対しても大きな一助となる事は間違いありません。

昨今、福祉人材の不足等については非常に大きな懸念を持っておりますが、それを上回るほどの高い志をもって福祉に携わる者として邁進していきたいと想います。

やんばるの家 管理課長 平良 健

単位：千円

区 分		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
人 件 費	人 件 費 総 額	616,002	647,467	664,366	716,708	780,366
	対 前 年 度 増 額	△15,004	31,465	16,899	52,342	63,658
	事業収益に占める割合	65.4%	67.7%	67.5%	68.0%	70.7%

退職掛金	退 職 給 付 掛 金 (福祉医療機構)	9,878	10,951	10,370	11,792	13,350
	退 職 共 済 掛 金 (県社協)	4,327	4,346	4,602	4,831	5,672
	小 計	14,205	15,297	14,972	16,623	19,022
	対 前 年 度 増 額	△1,088	1,092	△325	1,651	2,399
	人件費全体に占める割合	2.3%	2.3%	2.2%	2.3%	2.4%





小林流空手！迫力の演舞！（本文5面）

# スポーツの秋



400M リレーだんとつ1位！（えすの里）



運動会、はじめの歌熱唱

# 大運動会 デイサービス

いっしん汗流しました



ソフトボール投げ、金メダル（一心療護園）



玉入れ上手です



パン食い競争



## ◇◇◇◇◇◇ 一心福祉会 老人介護施設入所 待機者状況 ◇◇◇◇◇◇

施設名	定員	空き状況	待機者
特別養護老人ホーム やんばるの家 (☎0980-44-2288)	50名	0名	29名
デイサービスセンター やんばる (☎0980-44-2033)	33名(1日)	1～2名	3～4名
小規模多機能ホーム いっしん (☎0980-44-2662)	25名	5名	0名
小規模多機能ホーム あがり (☎0980-43-2344)	25名	6名	0名
グループホーム きじよか (☎0980-44-3015)	9名	0名	2名
グループホーム つつじ苑 (☎0980-43-3800)	9名	0名	0名

※詳しいお問い合わせは各施設にご連絡ください。

令和元年10月23日現在